

BRIGHT JAM

Manual



ファーストステップガイド

NIXUS
passion for innovation

北海道日興通信株式会社
1.2 版(2017/02)

目 次

1. はじめに	4
2. 準備するもの	4
2.1. パソコン	4
2.2. プロジェクター	4
2.3. オブジェクト	5
2.4. 素材	5
3. インストールしてみましょう	6
3.1. インストーラディスク読み込み	6
3.2. インストール実行	7
3.2.1. QuickTime インストール	7
3.2.2. Visual Studio 2012 ランタイムインストール	9
3.2.3. Visual Studio 2012 ランタイムインストール	10
3.2.4. BRIGHT JAM インストール	11
3.3. ライセンス認証(アクティベーション)	13
4. 準備	15
4.1. パソコンとプロジェクターの接続	15
4.2. オブジェクトの準備	15
4.3. 投影する素材の準備	16
4.4. 外部カメラ準備と接続(必要に応じて)	16
5. プロジェクトを作成してみましょう	17
5.1. プロジェクト作成	17
6. 画面	19
6.1. プレビューウィンドウ	19
6.1.1. FACE	20
6.1.2. ガイド	20
6.1.3. 丸ポイント	20
6.1.4. 四角ポイント	21
6.1.5. ガイドの複数選択	21
6.1.6. ガイドの頂点を直角にする	22
6.1.7. ガイドの重なり順	22
6.2. タイムラインウィンドウ	22
6.2.1. メニュー	22
6.2.1.1. ファイルメニュー	23
6.2.1.2. 編集メニュー	24
6.2.1.3. 表示メニュー	25
6.2.1.4. コントロールメニュー	26
6.2.1.5. 設定メニュー	26
6.2.1.6. ヘルプメニュー	29
6.2.2. タイムライン	29
6.2.2.1. タイムラインでの右クリックメニュー	31
6.2.2.2. 縮尺	33
6.2.3. コントロール	34
6.3. 設定ウィンドウ	35
6.3.1. プロパティ	35
7. 操作手順	38
7.1. ITEM を追加する	38
7.2. 【ITEM】の長さを調整する	39
7.3. オブジェクトに映像を合わせる	40

7.4. 再生する	41
7.5. プロジェクトを保存しましょう.....	42
8. 操作手順(応用).....	42
8.1. 【ITEM】を前に詰める	42
8.2. 【ITEM】の分割	43
8.3. 【ITEM】の複製	44
8.4. 【ITEM】のリンク作成.....	44
8.5. 【FACE】の表示位置をコピーする	45
8.6. タイムラインの表示縮尺を変更する	46
8.7. プロジェクトのデータを移行する.....	47
8.7.1. パッケージを作成する.....	47
8.8. パッケージを展開する	48
8.9. ITEM を 2 つの FACE に跨ったように表示させる	50
8.10. 【ITEM】を他のプロジェクトにコピー&ペーストする	52
9. 一覧.....	53
9.1. マウスカーソルの種類	53
9.2. ショートカットキー	54
10. 困ったときは.....	55
10.1. アンインストールしたい	55
10.2. ライセンス認証(アクティベーション)を解除したい	57
10.3. プレビューが画面いっぱいに表示され操作できない.....	58
10.4. 再生時に音が遅れる	58
10.5. 【プレビュー】ウィンドウが起動しない.....	58
10.6. プロジェクターに投影されない	58

1. はじめに

BRIGHT JAM(ブライトジャム)はプロジェクションマッピングをシンプルに実現するソフトウェアです。建物や物体、あるいは空間などに対して映像を映し出す、最新の CG 技術「プロジェクションマッピング」。近年、様々なイベントなどに用いられ人気を呼んでいます。

BRIGHT JAM は、これまで、3D ソフトなどを駆使して実現しなかったプロジェクションマッピングを、投影するオブジェクトを立方体などの面に限定することで実現できます。

イベントやパーティー、学校、ご家庭など様々なシーンで、プロジェクションマッピングが身近になります。



このテキストは、操作の流れをご理解いただくため、簡単な操作手順を「まずは、やってみよう!」ということを目的に作成しました。

2. 準備するもの

BRIGHT JAM はソフトウェアです。BRIGHT JAM を使ってプロジェクションマッピングをするためには、パソコンやプロジェクター、投影するオブジェクトが必要です。

2.1. パソコン

BRIGHT JAM は動画を複数再生するなど、負荷の高い機能を持ったソフトウェアですので、スペックの高いものをご用意ください。



BRIGHT JAM 推奨環境	
OS	Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10
CPU	Intel Core i7 2.8GHz/4 コア以上
メモリ	8GB 以上

2.2. プロジェクター



必要なプロジェクターは、どれだけ大きなオブジェクトに投影するか、または、部屋の明るさなどにより最適なスペックが異なります。投影するオブジェクトが小さい場合、1000 ルーメン程度のプロジェクターで十分プロジェクションマッピングを楽しんでいただけます。

大きなオブジェクトや部屋の壁一面に投影する場合など、10000 ルーメン以上のプロジェクターが必要になる場合があります。

2.3. オブジェクト



BRIGHT JAM は建物や複雑なオブジェクトに投影するのではなく、立方体のような平面に対して投影を行います。上図のようなオブジェクトがあると、サンプルプロジェクトを活かした多彩なマッピングが楽しめます。

2.4. 素材

BRIGHT JAM は静止画や動画、音などで投影する映像を構成します。あらかじめいくつかのサンプル動画や静止画、音素材が揃っていますので、素材がなくても BRIGHT JAM を始めることができます。オリジナルの動画、静止画、音を使用したい場合は、事前に素材を準備してください。

推奨するファイル形式は下記の通りです。

推奨ファイル形式	
動画	MOV(H.264/768kbps/フレームサイズ 600×600px)
静止画	JPEG/PNG/BMP(サイズ 1920×1080px 以下)
音	MP3/WAV

3. インストールしてみましょう

BRIGHT JAM は、専用のインストーラディスクからインストールを行います。パッケージに付属されているインストーラディスクをパソコンに読み込み、下記の操作を行ってください。

3.1. インストーラディスク読み込み

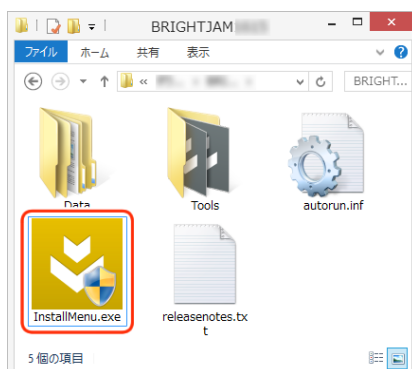
インストーラディスクをパソコンの光学ディスクドライブに挿入します。



ディスクが読み込まれると自動的にインストールメニュー画面が表示されます。



インストールメニュー画面が表示されない場合は、ディスク内の【InstallMenu.exe】をダブルクリックしてください。



3.2. インストール実行

インストールメニューの【インストール】ボタンをクリックし、インストールを実行してください。



3.2.1. QuickTime インストール

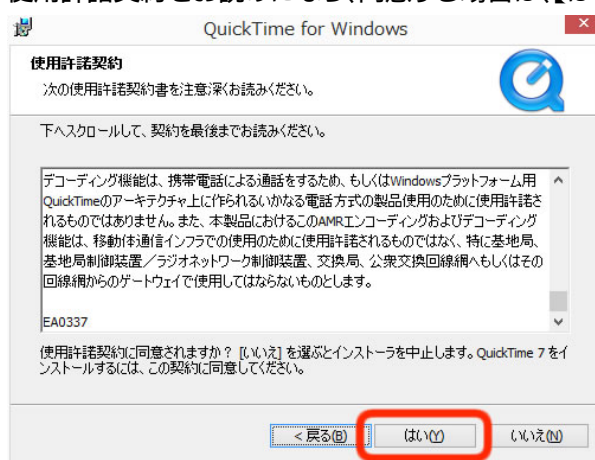
QuickTime のインストーラが開きます。出荷時期によりバージョンが異なります。

QuickTime が既にインストールされている場合は、この手順はありません。

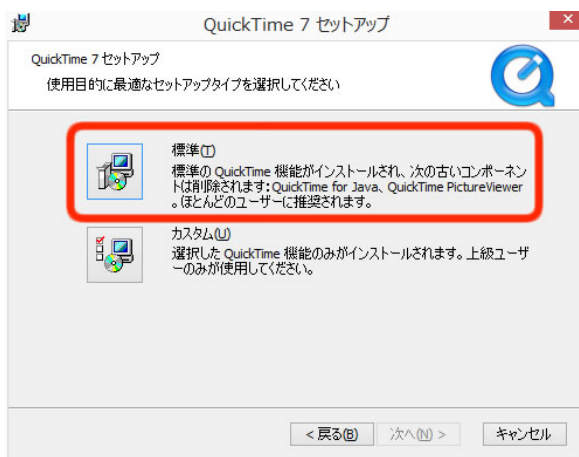
- ① 【次へ】ボタンをクリックします。



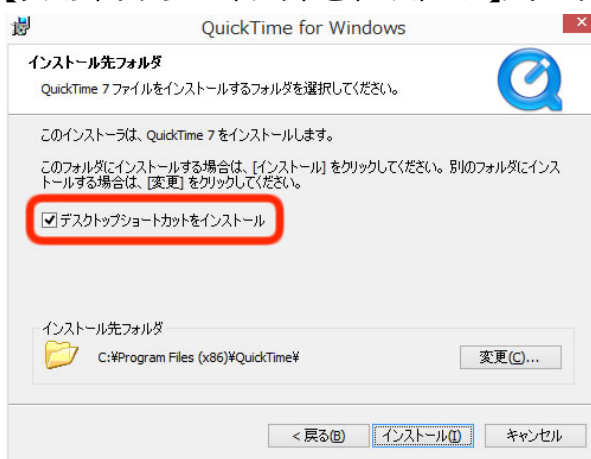
- ② 使用許諾契約をお読みにになり、同意する場合は、【はい】ボタンをクリックしてください。



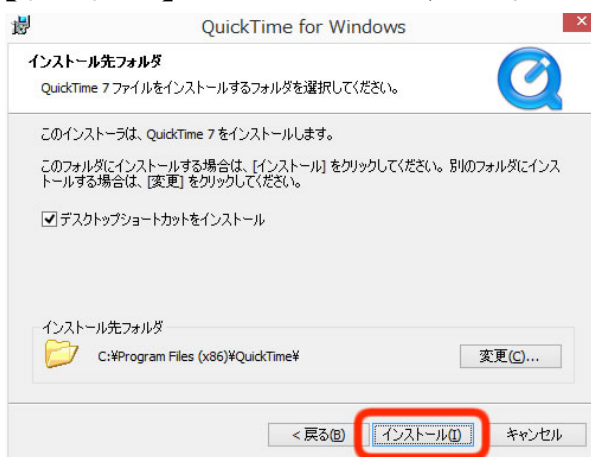
- ③ 使用目的に最適なセットアップタイプを選択してください。今回は【標準】を選択します。



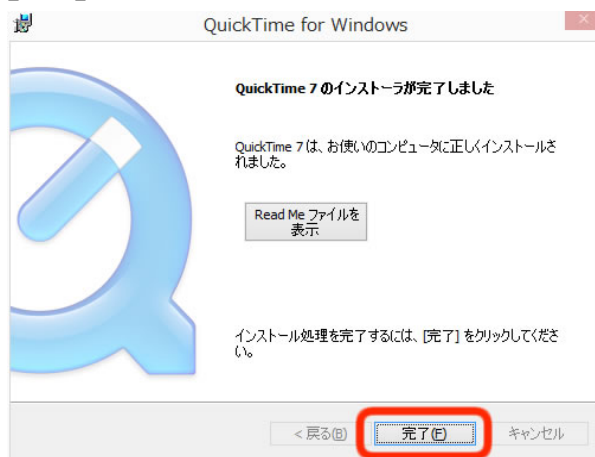
- ④ 【デスクトップショートカットをインストール】にチェックが入っているか確認してください。



- ⑤ 【インストール】ボタンをクリックしてください。



⑥ 【完了】ボタンをクリックしてください。



⑦ 下記のような画面が表示された場合、【購入しない】をクリックしてください。

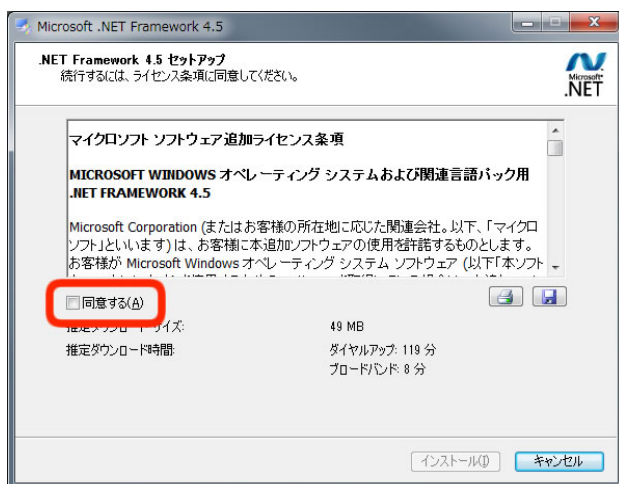


3.2.2. Visual Studio 2012 ランタイムインストール

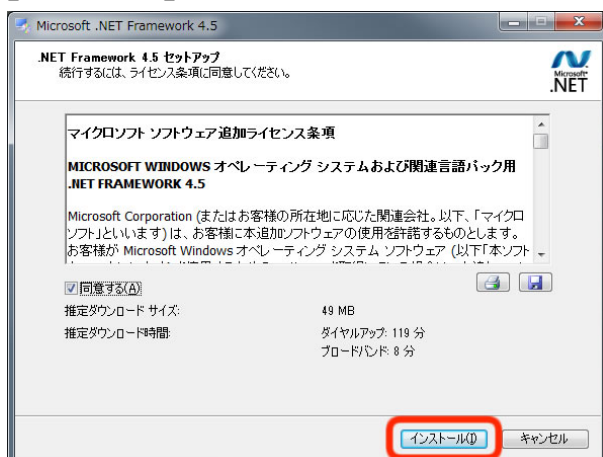
Visual Studio 2012 ランタイムのインストーラが開きます。出荷時期によりバージョンが異なります。

Visual Studio 2012 ランタイムが既にインストールされている場合は、この手順はありません。

① ライセンス条項および使用条件をお読みにになり、同意する場合は、【同意する】にチェックを入れてください。



② 【インストール】ボタンをクリックしてください。



③ 【完了】ボタンをクリックしてください。

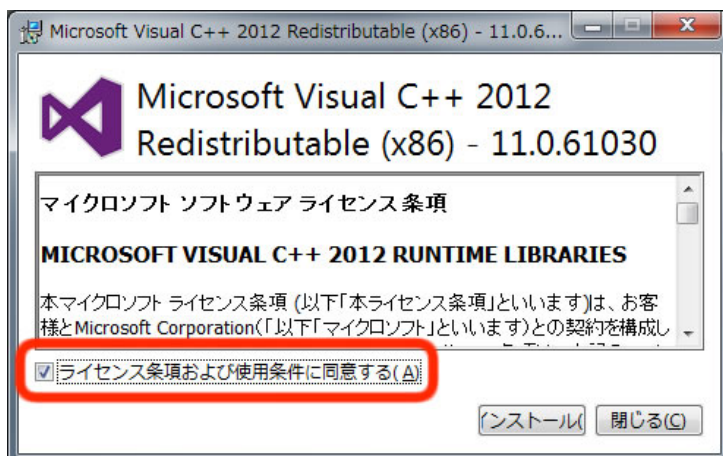


3.2.3. Visual Studio 2012 ランタイムインストール

Visual Studio 2012 ランタイムのインストーラが開きます。出荷時期によりバージョンが異なります。

Visual Studio 2012 ランタイムが既にインストールされている場合は、この手順はありません。

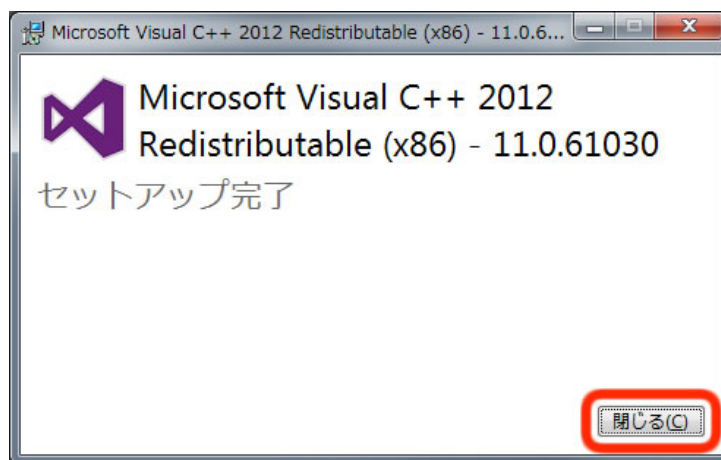
① ライセンス条項および使用条件をお読みにになり、同意する場合は、【ライセンス条項および使用条件に同意する】にチェックを入れてください。



② 【インストール】ボタンをクリックしてください。



- ③ セットアップが完了したら、【閉じる】ボタンをクリックしてください。



3.2.4. BRIGHT JAM インストール

- ① インストール先を設定します。デフォルトでは C:\Program Files (x86)\BrightJam と表示されています。インストール先を変更したい場合は、任意で変更してください。通常は、このままで良いでしょう。



- ② 使用許諾をお読みになり、同意する場合は、【同意する】にチェックを入れてください。



- ③ 【次へ】ボタンをクリックしてください。



- ④ 【終了】ボタンをクリックしてください。



以上で、インストールは終了です。

3.3. ライセンス認証(アクティベーション)

BRIGHT JAM を起動するには、初回のみライセンス認証(アクティベーション)が必要です。アクティベーションとは、ソフトウェアをインストールした後、正規のライセンスを保持していることを確認するための作業です。

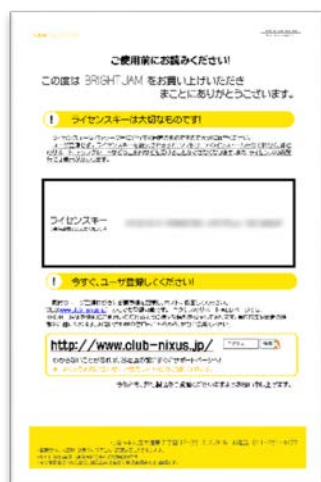
- ① インストール時に、【今すぐプログラムを起動する】にチェックを入れた場合は、【ライセンス認証】ウィンドウが表示されます。



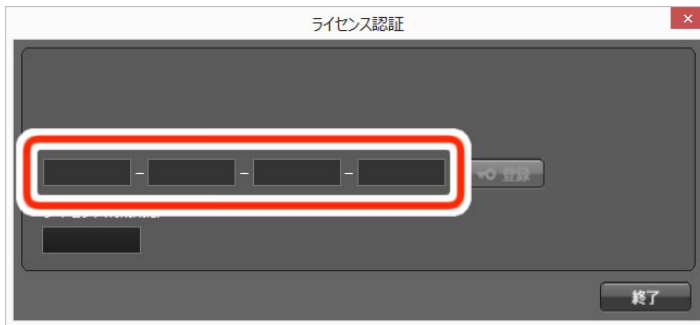
表示されていない場合は、BRIGHT JAM を起動してください。



- ② ご利用のパソコンをインターネットに接続してください。インターネットに接続されていないと、ライセンス認証は行えません。
- ③ お手元にライセンスキーが書かれた用紙をご用意ください。ライセンスキーが書かれた用紙は、パッケージ内に同梱されています。



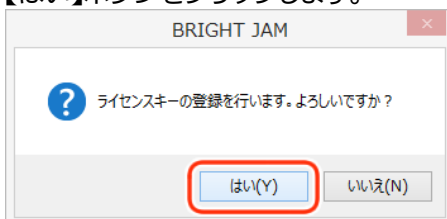
- ④ ライセンスを入力します。ライセンスキーを半角英数字で入力します。



- ⑤ 【登録】ボタンをクリックします。



- ⑥ 【はい】ボタンをクリックします。



- ⑦ 【OK】ボタンをクリックします。



- ⑧ アクティベーションが完了すると製品名が上部に表示されます。【終了】ボタンをクリックします。



ソフトウェアが起動します。以上で、ライセンス認証は終了です。

4. 準備

パソコンとプロジェクターを接続し、オブジェクトを設置しましょう。また、映し出す映像にオリジナルの素材を使用したい場合は、事前に準備しましょう。

4.1. パソコンとプロジェクターの接続

パソコンとプロジェクターを接続しましょう。映像の投影、オブジェクトに映像を合わせこむ際に使用します。表示方法は「拡張」で接続してください。



また、プロジェクターは2画面目に設定してください。



パソコンの解像度や画面の位置を変更する場合は、ソフトウェアを一度終了する必要があります。ご注意ください。

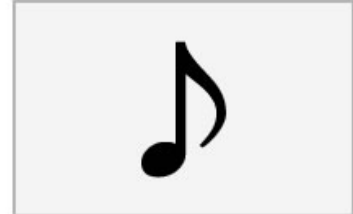
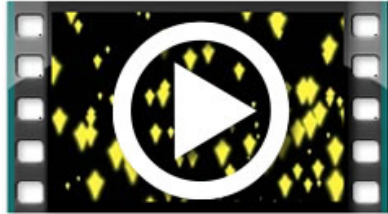
4.2. オブジェクトの準備

投影するオブジェクトを準備しましょう。設置する際に、オブジェクト全体にプロジェクターの映像が投影されていることを確認してください。



4.3. 投影する素材の準備

BRIGHT JAM には、あらかじめいくつかサンプルの動画や静止画、音素材が用意されていますので、オリジナルの素材がなくてもプロジェクションマッピングを始めることができます。オリジナルの動画や静止画、音を使用したい場合は、事前に素材を準備してください。



4.4. 外部カメラ準備と接続(必要に応じて)

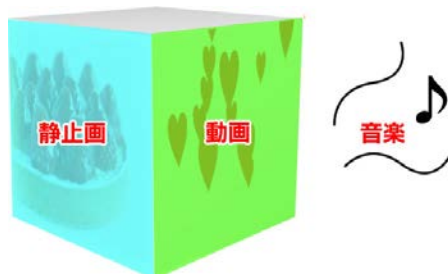
BRIGHT JAM にはパソコンの内蔵カメラや接続された外部カメラを読み込む機能があります。USB 接続カメラなどの映像を読み込む場合、事前に接続しておくとい良いでしょう。



5. プロジェクトを作成してみましょう

プロジェクトを作成して、いくつかの素材をタイムライン上に並べてみましょう。

今回は、立方体を使用し、1つの面には静止画を、もう1つの面には動画を、最後に BGM を付けたプロジェクトを作成して、実際に投影してみます。



5.1. プロジェクト作成

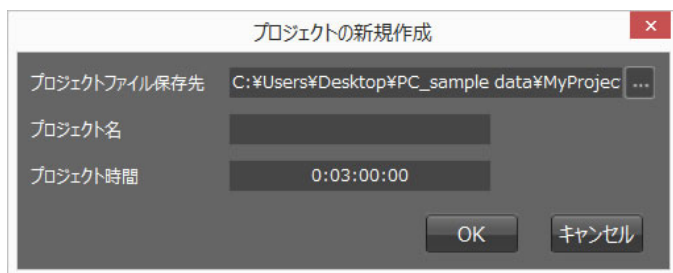
- ① 【スタートアップ】ウィンドウで、【プロジェクトの新規作成】ボタンをクリックします。



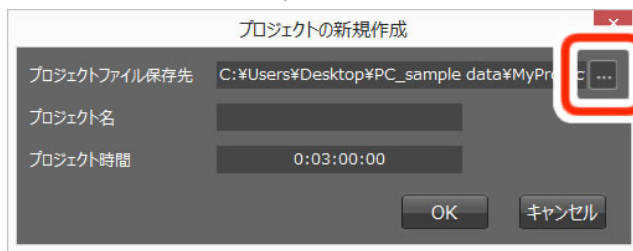
【スタートアップ】ウィンドウが表示されていない場合は、デスクトップの BRIGHT JAM アイコンをダブルクリックし、BRIGHT JAM を起動しましょう。



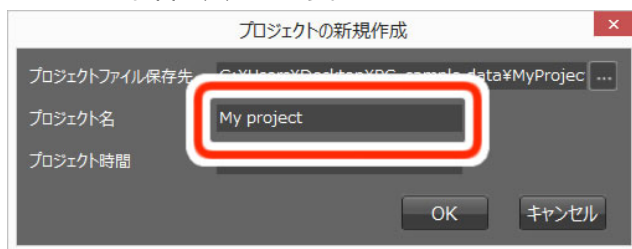
- ② 【プロジェクトの新規作成】ウィンドウが表示されます。



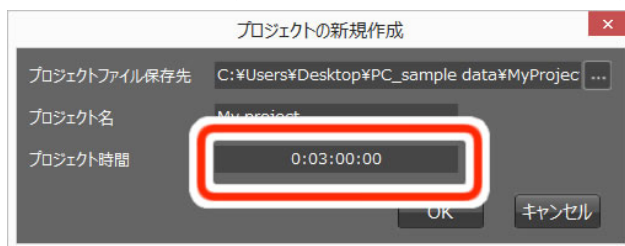
- ③ プロジェクトの保存先を設定します。



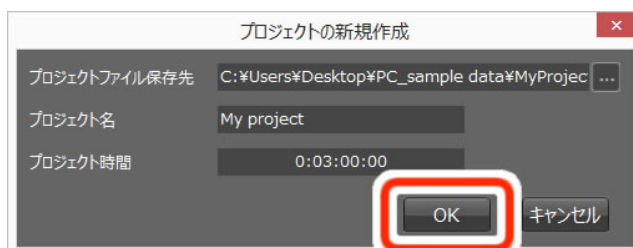
- ④ プロジェクト名を入力します。



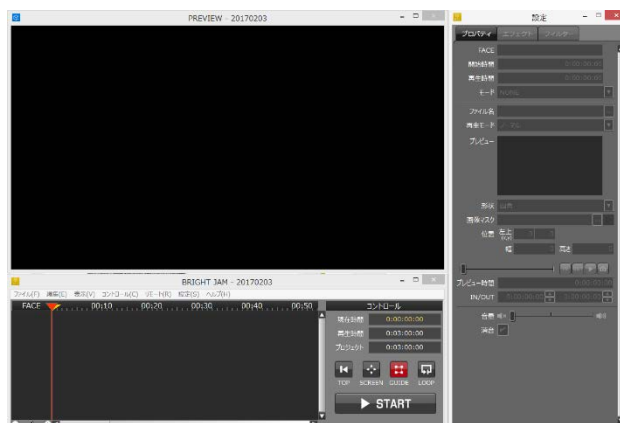
- ⑤ 作成するプロジェクトの時間を設定します。左から時間、分、秒、ミリセカンドとなっています。プロジェクト時間は、1 時間まで作成可能です。後から、変更もできます。



- ⑥ 【OK】ボタンをクリックします。



- ⑦ 下図のような画面が開きます。



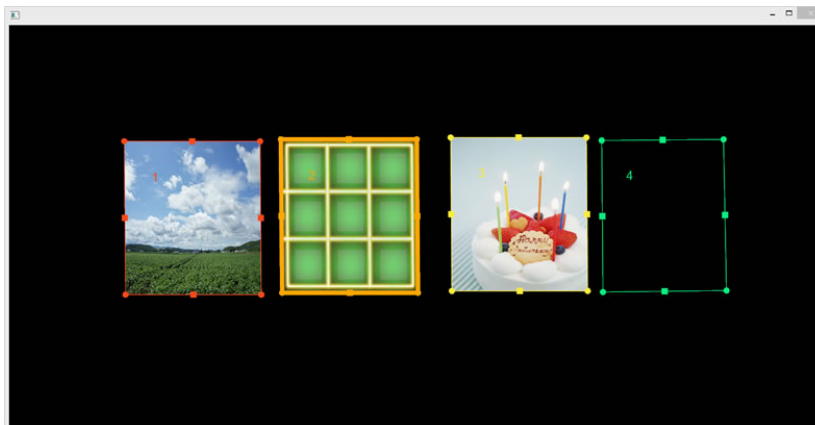
6. 画面

BRIGHT JAM は、【プレビュー】ウィンドウ、【タイムライン】ウィンドウ、【設定】ウィンドウの 3 つのウィンドウで構成されています。



6.1. プレビューウィンドウ

投影する映像を視覚的に確認します。表示された FACE の移動や拡大、縮小などができます。



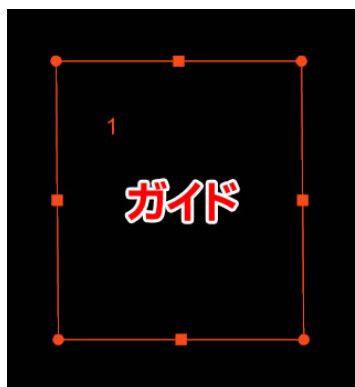
6.1.1. FACE

静止画、動画、音、カメラ素材を追加すると下記のような枠が【プレビュー】ウィンドウに追加されます。この枠を FACE(フェイス)といいます。左上に表示されている番号は FACE 番号です。



6.1.2. ガイド

FACE をオブジェクトに合わせこむ際に使用するポイントや辺を表します。ガイドには、丸と四角のポイントが表示されています。



6.1.3. 丸ポイント

丸いポイントは四隅の点を移動する際に使用します。



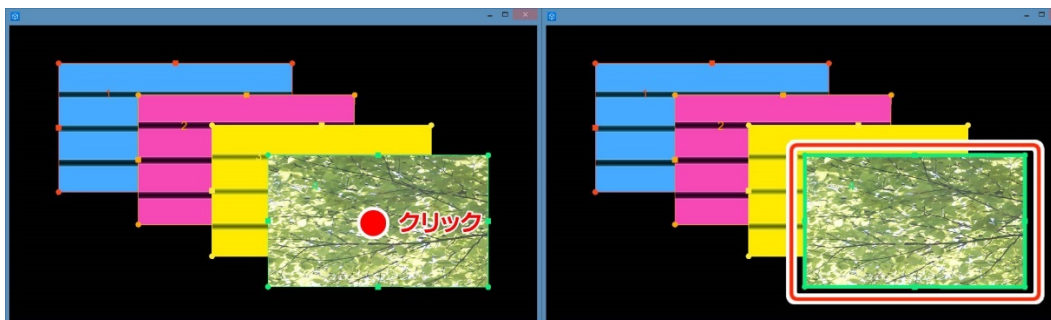
6.1.4. 四角ポイント

四角いポイントは辺を移動する際に使用します。

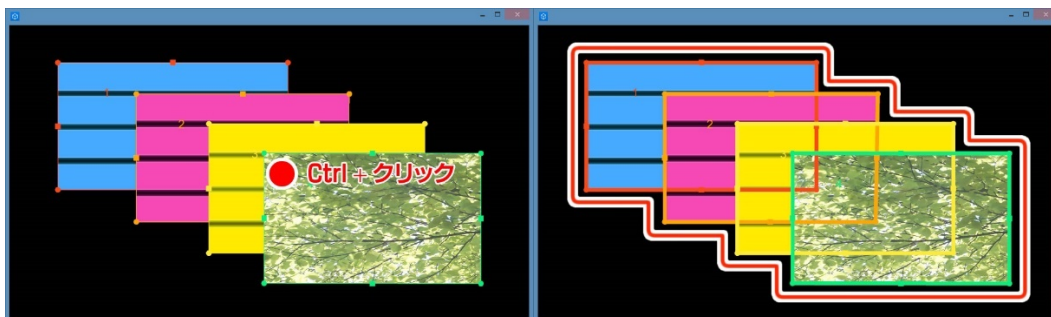


6.1.5. ガイドの複数選択

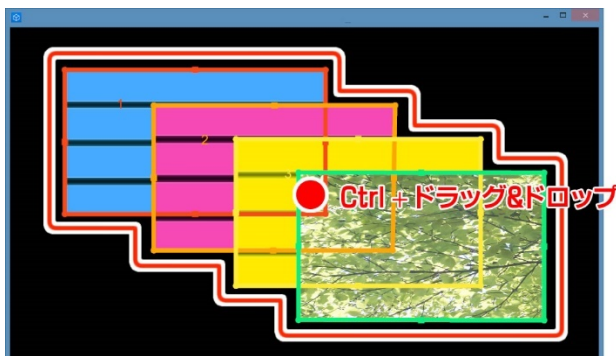
ガイドをクリックすると、最前面のガイドだけが選択されます。



ガイドが重なっている場所を、【Ctrl】キーを押しながらクリックします。重なっている複数のガイドを選択することができます。

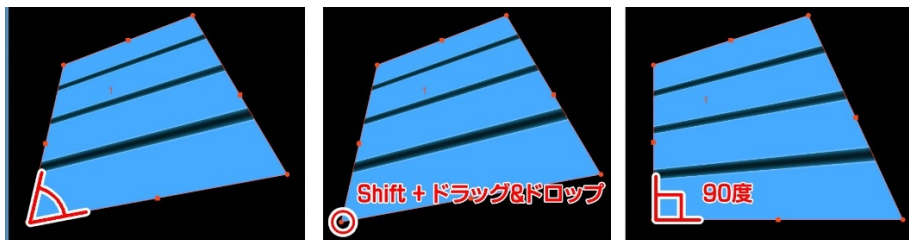


また、重なっている複数のガイドを選択したまま移動する場合、再度【Ctrl】キーを押しながらドラッグ&ドロップすると複数のガイドを移動することができます。



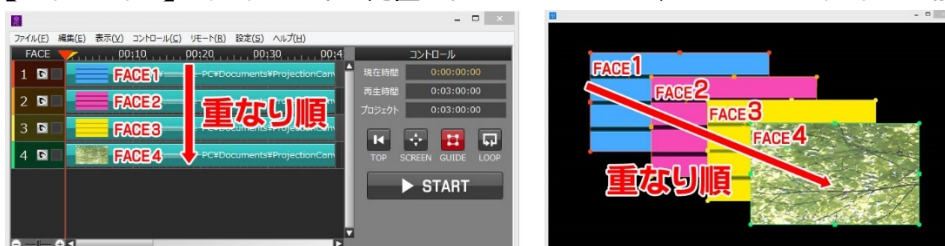
6.1.6. ガイドの頂点を直角にする

四隅の丸いポイントを、【Shift】キーを押しながらドラッグ&ドロップすると、直角に変形することができます。



6.1.7. ガイドの重なり順

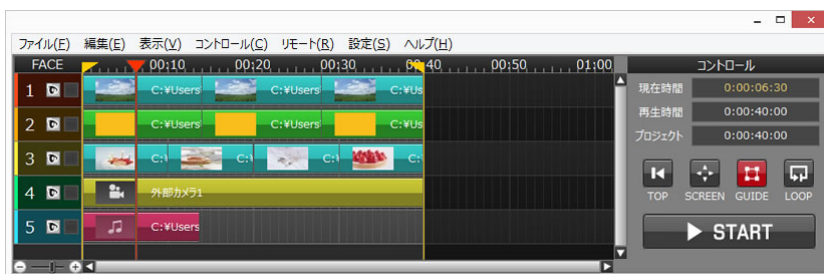
【タイムライン】ウィンドウで下に配置されている FACE が、プレビューウィンドウの前面に配置されます。



6.2. タイムラインウィンドウ

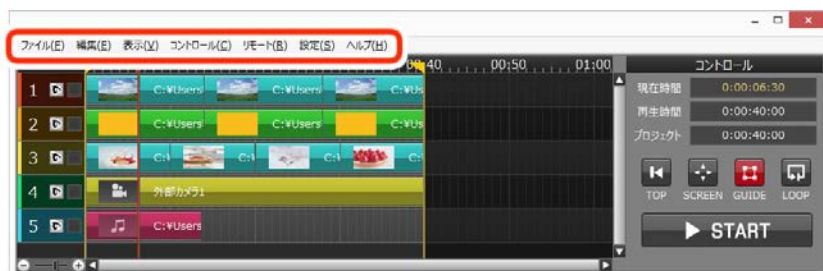
BRIGHT JAM のファイルの新規作成や保存など、様々な設定を行います。また、動画編集ソフトのようにタイムラインに並べた素材の長さ調整や順番を入れ替えることができます。

【タイムライン】ウィンドウのコントロールでは、プロジェクトの再生、時間表示、【プレビュー】ウィンドウでのガイドの表示設定などを行います。



6.2.1. メニュー

BRIGHT JAM の各種設定を行います。ファイル、編集、表示、コントロール、(リモート)、設定、ヘルプメニューがあります。※【リモート】は使用できません。



6.2.1.1. ファイルメニュー

ファイル(F)		
①	新規作成(N)	Ctrl+Shift+N
②	プロジェクトを開く(O)	Ctrl+Shift+O
③	保存(S)	Ctrl+S
④	別名で保存(A)	
⑤	プロジェクトを閉じる(C)	
⑥	パッケージを作成(P)	
⑦	パッケージを展開(I)	
⑧	アプリケーションの終了(X)	

- ① 新規作成
プロジェクトを新規に作成します。
- ② プロジェクトを開く
既存のプロジェクトを開きます。
- ③ 保存
開いているプロジェクトを上書き保存します。
- ④ 別名で保存
別の名称を設定して、新たにプロジェクトファイルを作成して保存します。
- ⑤ プロジェクトを閉じる
開いているプロジェクトを閉じます。
- ⑥ パッケージを作成
保存したプロジェクトに使用されている素材を収集して、プロジェクトの圧縮ファイルを作成します。
パッケージ化は、プロジェクトに使用されている素材を簡単に揃えることができ、他のパソコンで同様のプロジェクトを開く場合に便利です。別名で保存する場合は、パッケージを展開してください。
- ⑦ パッケージを展開
作成したパッケージファイルを展開します。展開されたデータは使用されているプロジェクトファイルと素材データに分けられます。パッケージデータから素材データを取り出す、またはパッケージデータを別名で保存する際に便利です。
- ⑧ アプリケーションの終了
BRIGHT JAM を終了します。

6.2.1.2. 編集メニュー

編集(E)		
①	元に戻す(U)	Ctrl+Z
②	やり直し(R)	Ctrl+Y
③	FACE追加(A)	Ctrl+A
④	コピー(C)	Ctrl+C
⑤	選択ITEM全削除(D)	Delete
⑥	前に詰める(F)	Ctrl+←
⑦	後ろに詰める(B)	Ctrl+→
⑧	分割(K)	Ctrl+K
⑨	IN点設定(I)	Ctrl+I
⑩	OUT点設定(O)	Ctrl+O
⑪	整列	▶

- ① 元に戻す
直前の操作を取り消します。
- ② やり直し
元に戻した操作を再実行します。
- ③ FACE 追加
FACE を追加します。
- ④ コピー
選択している ITEM をコピーします。
- ⑤ 選択 ITEM 全削除
選択している ITEM を全て削除します。
- ⑥ 前に詰める
選択している ITEM の前のスペースを詰めます。
- ⑦ 後ろに詰める
選択している ITEM の後ろのスペースを詰めます。
- ⑧ 分割
タイムラインカーソルの位置で、選択している ITEM を分割します。
- ⑨ IN 点設定
タイムラインカーソルが表示されている位置に IN 点を設定します。
- ⑩ OUT 点設定
タイムラインカーソルが表示されている位置に OUT 点を設定します。
- ⑪ 整列
選択中の ITEM の再生位置や再生時間を揃えます。

【開始時間】

最も早いITEMに合わせる(E)	開始時間 ▶
最も遅いITEMに合わせる(L)	

■最も早い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も早く再生される ITEM の開始時間に、選択中の全ての ITEM の開始時間

を合わせます。同一 FACE の ITEM を複数選択した場合は、選択中の ITEM の中で最も開始時間が早い ITEM だけが適用されます。開始時間に別の ITEM がある ITEM の整列は、キャンセルされます。

■最も遅い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も遅く再生される ITEM の開始時間に選択中の全ての ITEM の開始時間を合わせます。同一 FACE の ITEM を複数選択した場合は、選択中の ITEM の中で最も開始時間が遅い ITEM だけが適用されます。開始時間に別の ITEM がある ITEM の整列は、キャンセルされます。

【再生時間】



■最も短い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も短い ITEM の再生時間に再生時間を合わせます。

■最も長い ITEM に合わせる

選択中の ITEM の中で最も長い ITEM の再生時間に再生時間を合わせます。調整後に別の ITEM が重なる場合は、ITEM の整列がキャンセルされます。

6.2.1.3. 表示メニュー



① プレビュー

【プレビュー】ウィンドウの表示状態を表します。チェックが付いている場合、ウィンドウが表示されています。【プレビュー】ウィンドウが消えてしまった場合、チェックを入れて表示することができます。

② プロパティ

【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブの表示状態を表します。チェックが付いている場合、タブが表示されています。【設定】ウィンドウが消えている、または他のタブが表示されている場合、チェックを入れて表示することができます。

③ エフェクト

【エフェクト】は使用できません。

④ フィルター

【フィルター】は使用できません。

6.2.1.4. コントロールメニュー

コントロール(C)		
①	TOP(T)	Ctrl+T
②	SCREEN(P)	Ctrl+P
③	GUIDE(G)	Ctrl+G
④	LOOP(L)	Ctrl+L
⑤	START/PAUSE(S)	Space

- ① TOP
タイムラインカーソルを IN 点の位置まで移動します。
- ② SCREEN
プロジェクターへ投影します。
- ③ GUIDE
【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示します。
- ④ LOOP
IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにします。
- ⑤ START/PAUSE
再生、停止します。

6.2.1.5. 設定メニュー

設定(S)	
①	各種設定(S)
②	カメラ設定(C)

- ① 各種設定

【時間】

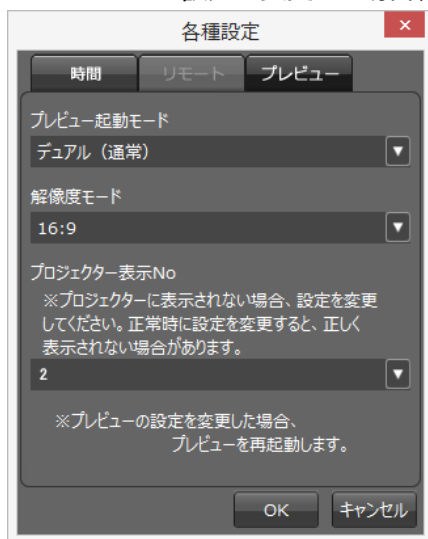


■ 静止画デフォルト表示時間

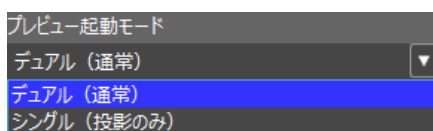
静止画デフォルト表示時間を設定できます。静止画デフォルト表示時間とは、静止画をタイムラインに読み込んだ際の既定時間のことです。

【プレビュー】

※プレビューの設定を変更した場合、【プレビュー】画面を再起動します。



■プレビュー起動モード



・デュアル(通常)

コントロールで【SCREEN】ボタンをクリックした際に、【プレビュー】ウィンドウを PC 画面側に表示します。

・シングル(投影のみ)

コントロールで【SCREEN】ボタンをクリックした際に、【プレビュー】ウィンドウを PC 画面側には表示せず、プロジェクターの投影先にのみ表示します。

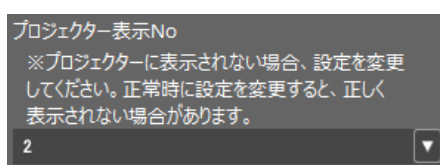
PC の動作が少し軽くなります。

■解像度モード



【プレビュー】ウィンドウの縦横比を【FREE／16:9／4:3／9:16／3:4】から選択できます。

■プロジェクター表示 No



プロジェクター表示の設定を変更できます。

パソコンとプロジェクターの接続に問題がない場合でも、お使いのパソコン環境によってはプロジ

エクターに映像が表示されないことがあります。プロジェクターに映像が正しく投影されない場合のみ、【プロジェクター表示 No】の変更をお試しください。

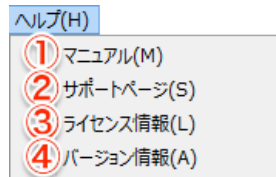
② カメラ設定



読み込むカメラの検出や表示名などを設定します。カメラ設定は、プロジェクトを開いていない状態で行ってください。

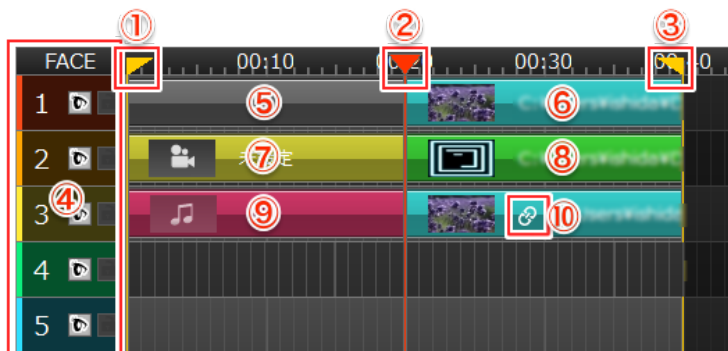
【設定】メニューの【各種設定】で、プレビュー起動モードを【通常(デュアル)】に設定していた場合は、【SCREEN】ボタン押下時にプロジェクター側だけ、カメラ映像が反映されます。【プレビュー】ウィンドウ上では、カメラ映像は更新されません。


6.2.1.6. ヘルプメニュー



- ① マニュアル
製品マニュアルを開きます。
- ② サポートページ
サポートページを開きます。
- ③ ライセンス情報
ライセンスキーの登録や解除、ライセンスキーの有効期限を確認できます。
- ④ バージョン情報
ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

6.2.2. タイムライン

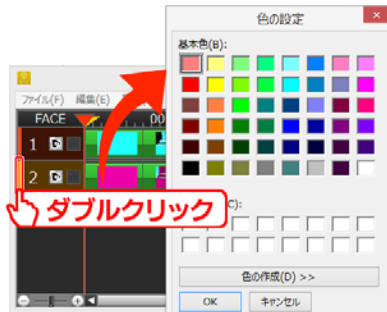


- ① IN 点
再生開始ポイントです。
- ② タイムラインカーソル
現在の再生位置を表示するカーソルです。
- ③ OUT 点
再生終了ポイントです。
- ④ FACE
素材を配置するエリアです。
BRIGHT JAM は 5 個まで作成が可能です。
■表示/非表示

FACE の表示状態を変更します。
■ロック/ロック解除



FACE の編集を制御します。ロックされている場合、【タイムライン】や【プレビュー】での操作はできません。

■色変更



FACE のガイドの表示色を変更できます。ダブルクリックすると【色の設定】ウィンドウが表示されます。

【ITEM】

動画や静止画、音楽、カメラなどの素材を ITEM と呼びます。

- ⑤ NONE(空の ITEM)
何も設定されていない ITEM です。
- ⑥ IMAGE(静止画)
JPEG/PNG/BMP ファイル(サイズ 1920×1080 以下推奨)を設定する ITEM です。
- ⑦ CAMERA(カメラ)
外部カメラの映像を表示する ITEM です。
- ⑧ MOVIE(動画)
MOV ファイル(H.264/768kbps/フレームサイズ 600×600 推奨)を設定する ITEM です。
- ⑨ SOUND(音)
MP3/WAV ファイルを設定する ITEM です。
- ⑩ LINK(リンク)
同じ TIME に配置された別 FACE の ITEM とリンクしている ITEM です。

6.2.2.1. タイムラインでの右クリックメニュー

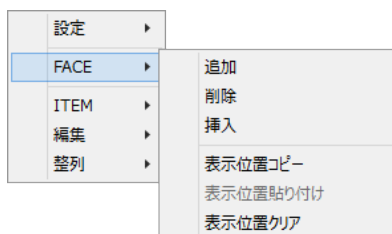


① 設定

設定ウィンドウのタブを切り替えます。BRIGHT JAM では【プロパティ】のみ選択できます。



② FACE



■追加

FACE を追加します。ショートカットキーは【Alt】+【A】キーです。

■削除

FACE を削除します。FACE に ITEM がある場合、削除できません。ITEM を削除してから、FACE を削除してください。

■挿入

選択 FACE の上に新しい FACE を挿入します。

■表示位置コピー

選択している FACE の表示位置(プレビューウィンドウの GUIDE 位置)をコピーします。

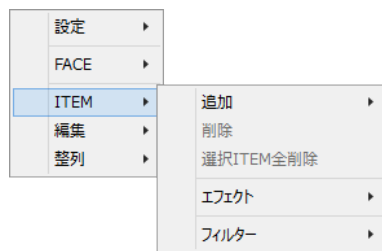
■表示位置貼り付け

コピーした表示位置(プレビューウィンドウの GUIDE 位置)を貼り付けます。

■表示位置クリア

ガイドの表示位置をデフォルトの位置に戻します。

③ ITEM



■追加



【NONE／IMAGE／CAMERA／MOVIE／SOUND／LINK】の6種類から選択してITEMを追加します。

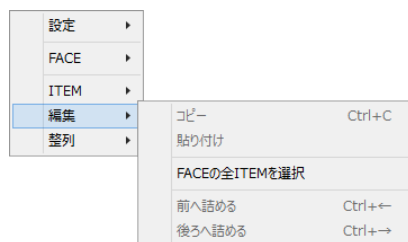
■削除

右クリックした1つのITEMを削除します。リンクされたアイテムは一緒に削除します。

■選択ITEM全削除

選択している全ITEMを削除します。

④ 編集



■コピー

選択しているITEMをコピーします。

■貼り付け

コピーしたITEMを貼り付けます。別プロジェクト、プロジェクトからパッケージへの貼り付けも可能です。詳しくは、「[8.10【ITEM】を他のプロジェクトにコピー&ペーストする](#)」を参照してください。

■FACEの全ITEMを選択

選択しているFACEの全ITEMを選択します。

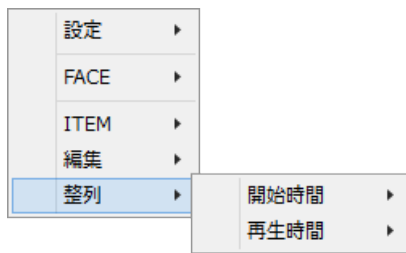
■前へ詰める

選択したITEMの前のスペースを詰めます。

■後ろへ詰める

選択したITEMの後ろのスペースを詰めます。

⑤ 整列



■開始時間

複数選択している ITEM を、選択している ITEM の中で最も早い開始時間、または最も遅い開始時間に合わせます。

■再生時間

複数選択している ITEM を、選択している ITEM の中で最も短い再生時間、または最も長い再生時間に合わせます。

6.2.2.2. 縮尺



タイムラインの 1 目盛りの秒数を変更することができます。変更できる秒数は下記の 7 通りです。
10 秒 / 5 秒 / 2 秒 / 1 秒 / 0.5 秒 / 0.2 秒 / 0.1 秒

6.2.3. コントロール

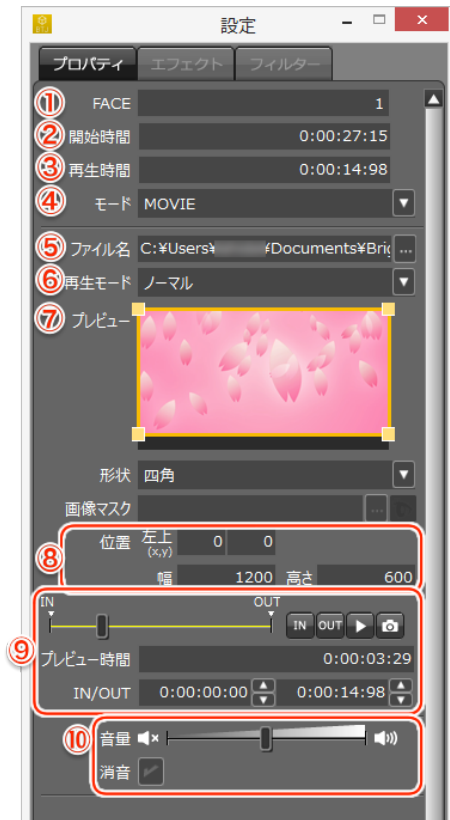


- ① 現在時間
現在の再生位置の時間を表示しています。数値を入力して変更が可能です。
- ② 再生時間
IN 点から OUT 点の間の時間を表示します。
- ③ プロジェクト
プロジェクト全体の時間を表示しています。数値を入力して変更が可能です。
- ④ TOP
タイムラインカーソルを IN 点の位置まで移動します。
- ⑤ SCREEN
プロジェクターへ映像を投影します。
- ⑥ GUIDE
【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示します。
- ⑦ LOOP
IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにします。
- ⑧ START/PAUSE
再生、停止します。

6.3. 設定ウィンドウ

選択した ITEM の設定を行います。BRIGHT JAM では【プロパティ】のみ選択できます。

6.3.1. プロパティ



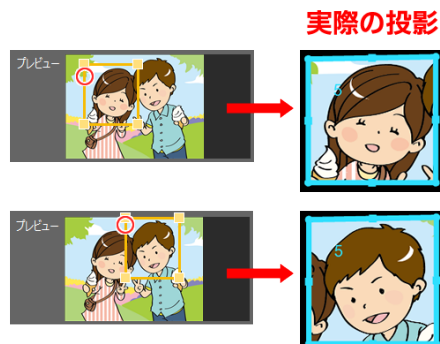
- ① FACE
選択している FACE 番号を表示します。
- ② 開始時間
ITEM のタイムライン上での開始位置(時間)を設定できます。
- ③ 再生時間
ITEM の長さ(時間)を設定できます。
- ④ モード
ITEM がどのような素材なのかを選択、表示します。
【NONE/IMAGE/CAMERA/MOVIE/SOUND/LINK】の 6 つのモードがあります。
モードの種類については、「[6.2.2 タイムライン](#)」を参照してください。
- ⑤ ファイル名
選択している ITEM のファイルの場所とファイル名を表示します。
- ⑥ 再生モード
再生モードをノーマル/ループの 2 種類から選択できます。
■ノーマル
映像が終わると最後のフレームで止まります。

■ループ

映像が終わると最初のフレームへ戻り、繰り返します。

⑦ プレビュー

設定した ITEM のプレビューが表示されています。

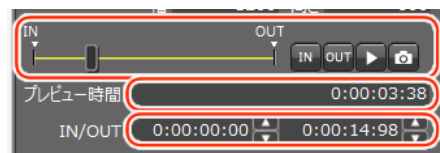


黄色い枠の大きさを変えたり位置を移動したりしてマスクをかけ、投影する範囲を指定できます。

⑧ 位置／幅／高さ

【プレビュー】の黄色い枠の位置と大きさを表示します。数値を入力することもできます。

⑨ 動画プロパティ



■スライダーバー

スライダーバーを動かして動画の内容を確認できます。

■IN



スライダーバーを任意の場所に設定し【IN】ボタンをクリックすると、動画の開始位置を指定できます。

■OUT



スライダーバーを任意の場所に設定し【OUT】ボタンをクリックすると、動画の終了位置を指定できます。

■プレビュー



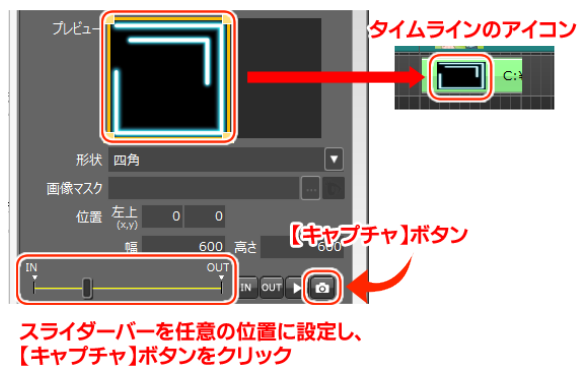
クリックすると【プロパティ】タブ上で動画が再生され、動画の内容を確認できます。

■キャプチャ



スライダーバーを任意の場所に設定し【キャプチャ】ボタンをクリックすると、タイムラインに表示さ

れるサムネイル画像を指定できます。



■プレビュー時間

スライダーバーの時間を表示します。

■IN/OUT

【IN】ボタンと【OUT】ボタンで設定した時間を表示します。数値を入力することもできます。

⑩ 音プロパティ

■音量



選択している ITEM の音量を調整します。

■消音

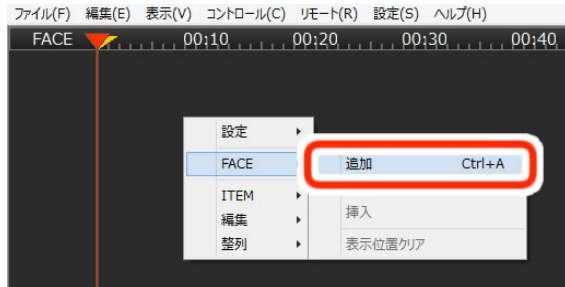


選択している ITEM の音を消します。

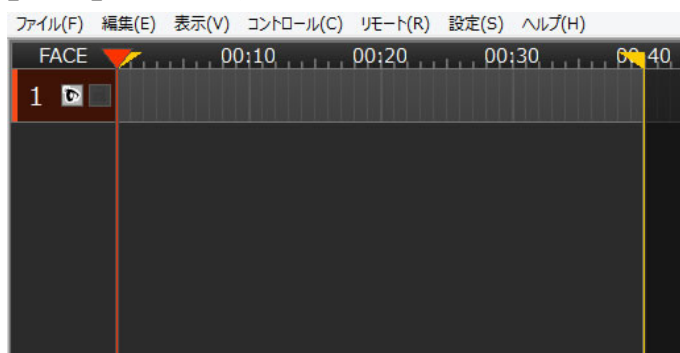
7. 操作手順

7.1. ITEM を追加する

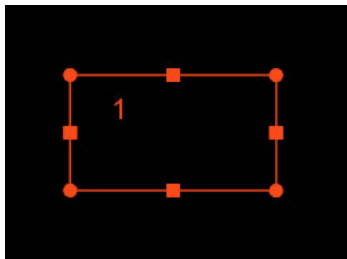
- ① タイムライン上の右クリックメニューから【FACE】の【追加】をクリックします。



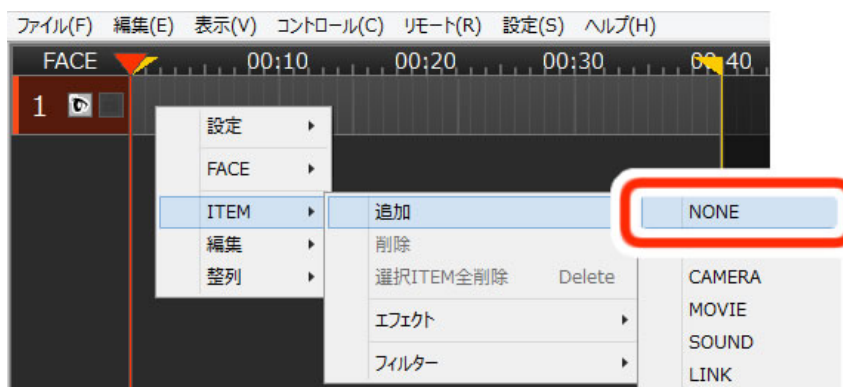
【FACE】が追加され、



【プレビュー】ウィンドウにも【FACE】枠が追加されます。



- ② 追加した【FACE】で右クリックし、右クリックメニューから【ITEM】>【追加】>【NONE】をクリックします。



空の ITEM が追加されました。

- ③ 追加した【ITEM】を選択し、【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブで、【モード】から追加したい種類の

【ITEM】を選択し(ここでは【IMAGE】(静止画)で説明します)、【ファイル名】の【参照】ボタンをクリックし、投影したいファイルを選択します。



【ITEM】が追加されました。



ファイルを【FACE】に直接ドラッグ&ドロップして、【ITEM】を追加することもできます。

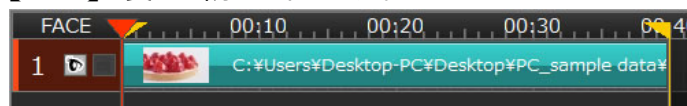


7.2. 【ITEM】の長さを調整する

【ITEM】の両端にカーソルを近づけ、下図のようなアイコンになったらドラッグ&ドロップします。



【ITEM】の長さが調整されました。



【設定】ウィンドウの【プロパティ】タブの【再生時間】に直接数値を入力して調整することもできます。



7.3. オブジェクトに映像を合わせる

- ① 【タイムライン】ウィンドウの【コントロール】の【SCREEN】ボタンをクリックします。



ガイドが表示されていない場合は、【コントロール】の【GUIDE】ボタンをクリックします。



- ② 【ITEM】を選択します。

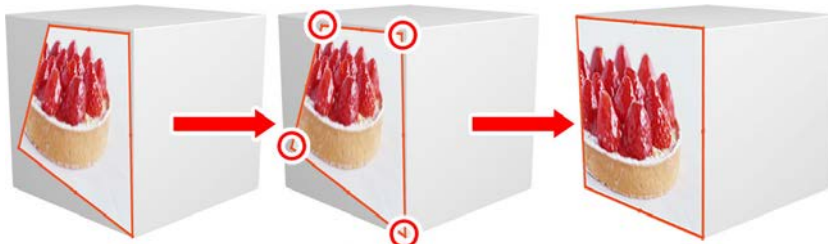
【ITEM】を選択すると、【プレビュー】ウィンドウのガイドが太く表示されます。



- ③ ガイドの四隅の4点を移動し、投影された映像をオブジェクトに合わせます。



- ④ 【プレビュー】ウィンドウのガイドの丸いポイントをドラッグ&ドロップして四隅の点をそれぞれ移動し、実際のオブジェクトを見ながら、投影された映像を合わせます。



ガイドの辺を移動したい場合は、ガイドの四角いポイントで移動することができます。



FACE の大きさを変えずに位置を移動する場合は、【プレビュー】ウィンドウの FACE の枠内をクリックし、ドラッグ&ドロップすると大きさや形を変えずに位置を移動できます。



7.4. 再生する

- ① 表示されているガイドを非表示にします。【GUIDE】ボタンをクリックします。



- ② 【タイムライン】ウィンドウの【コントロール】の【START】ボタンをクリックします。



再生が開始されます。

- ③ 停止をするときは、【タイムライン】ウィンドウの【コントロール】の【PAUSE】ボタンをクリックします。



7.5. プロジェクトを保存しましょう

【ファイル】メニューから【保存】を選択します。



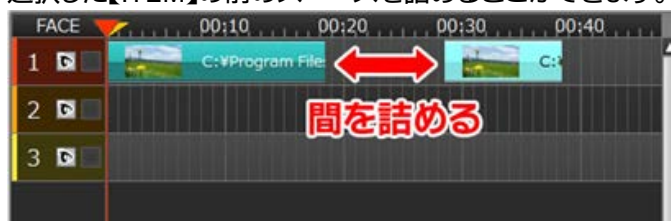
これで 1 つのプロジェクトが完成しました。

8. 操作手順(応用)

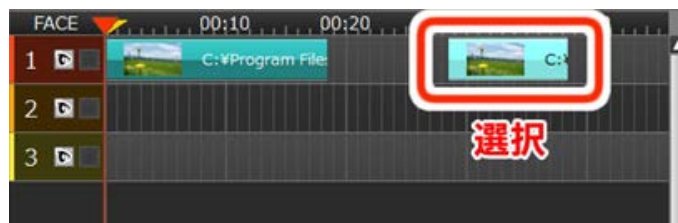
BRIGHT JAM の操作に慣れてきたら、ショートカットなどの機能を使用してみましょう。

8.1. 【ITEM】を前に詰める

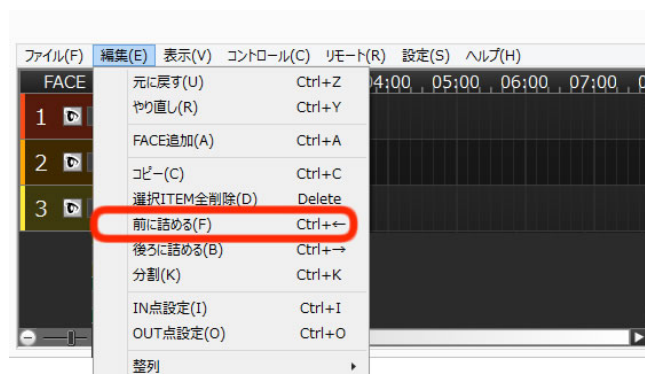
選択した【ITEM】の前のスペースを詰めることができます。



- ① 前に詰めたい【ITEM】を選択します。

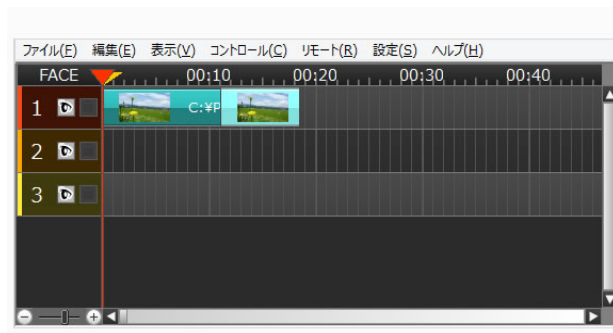


- ② 【編集】メニューの【前に詰める】を選択します。



または、【Ctrl】キー＋【←】キーを押してください。

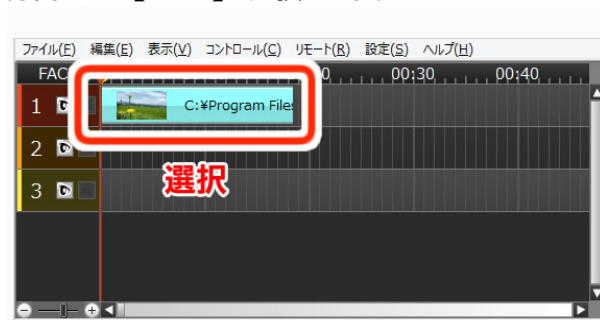
③ 【ITEM】が詰まりました。



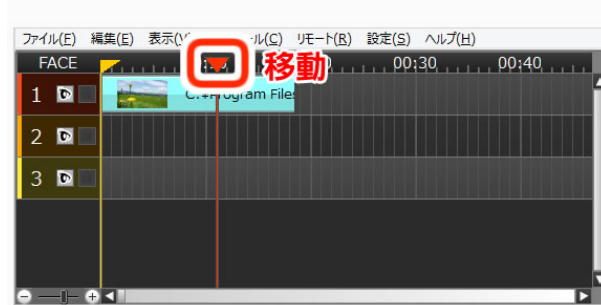
8.2. 【ITEM】の分割

素材をタイムラインカーソルの位置で分割することができます。

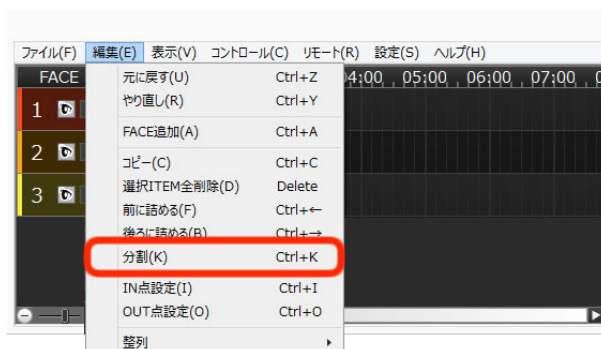
① 分割したい【ITEM】を選択します。



② 分割したい位置にタイムラインカーソルを移動します。

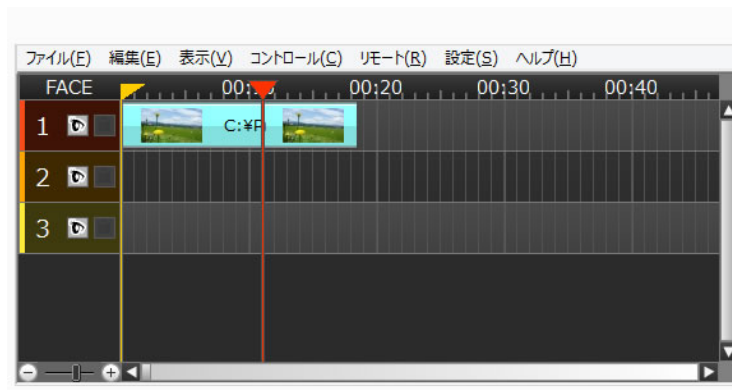


③ 【編集】メニューから【分割】を選択します。



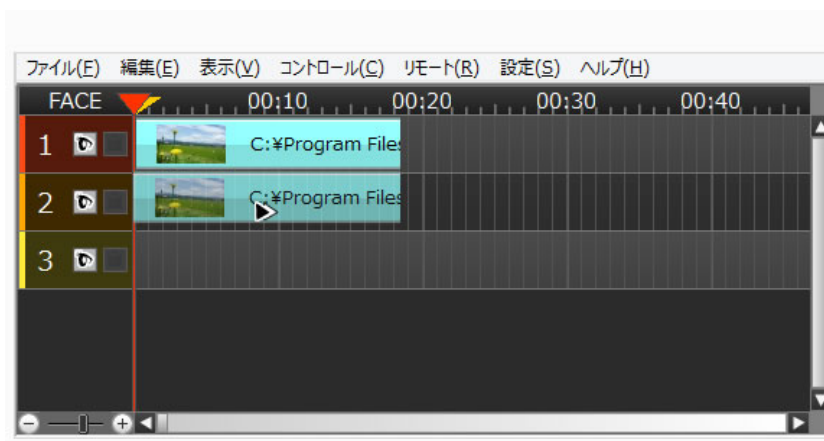
または、【Ctrl】キー+【K】キーを押してください。

- ④ 2つの【ITEM】に分割されました。



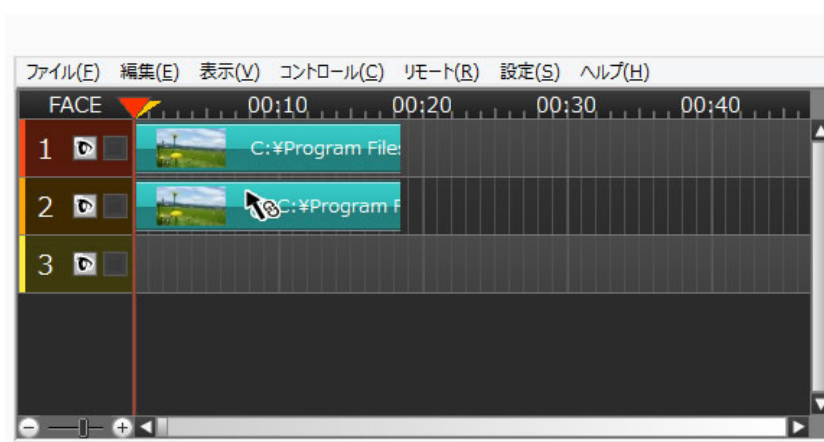
8.3. 【ITEM】の複製

【ITEM】をドラッグしている最中に【Ctrl】キーを押しながらドロップすると【ITEM】が複製されます。



8.4. 【ITEM】のリンク作成

【ITEM】をドラッグしている最中に【Alt】キーを押しながら別の FACE にドロップするとリンク素材として【ITEM】が作成されます。同じ時間軸にのみ、リンク素材を作成することができます。



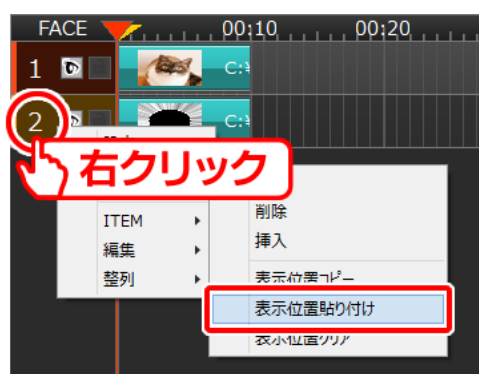
8.5. 【FACE】の表示位置をコピーする

【FACE】2 を【FACE】1 と同じ位置にします。

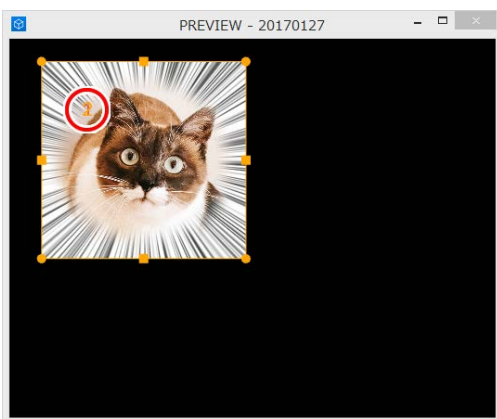
- ① 【FACE】1 のタイムラインで右クリックし、【表示位置コピー】を選択します。



- ② 【FACE】2 のタイムラインで右クリックし、【表示位置貼り付け】を選択します。



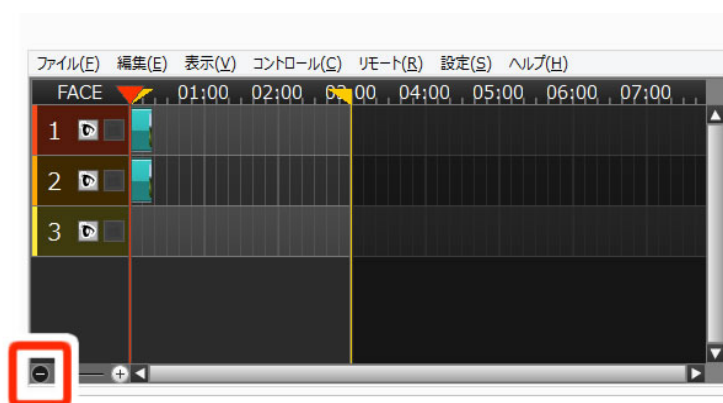
- ③ 【FACE】1 の上に【FACE】2 が重なった状態になりました。



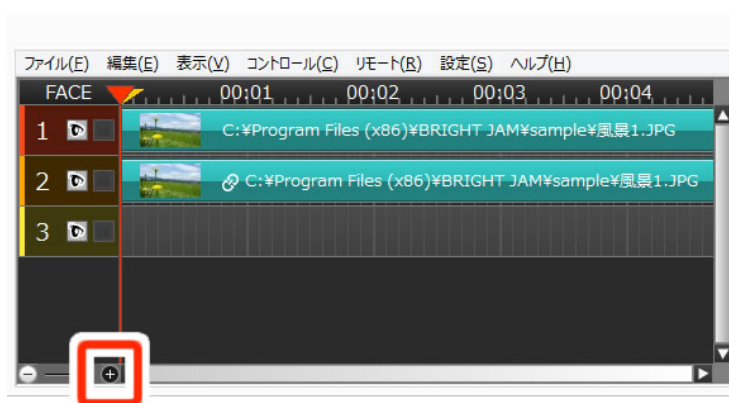
【FACE】1 と【FACE】2 が違う大きさだった場合、【表示位置貼り付け】をしたときに【FACE】1 の大きさに合わせます。

8.6. タイムラインの表示縮尺を変更する

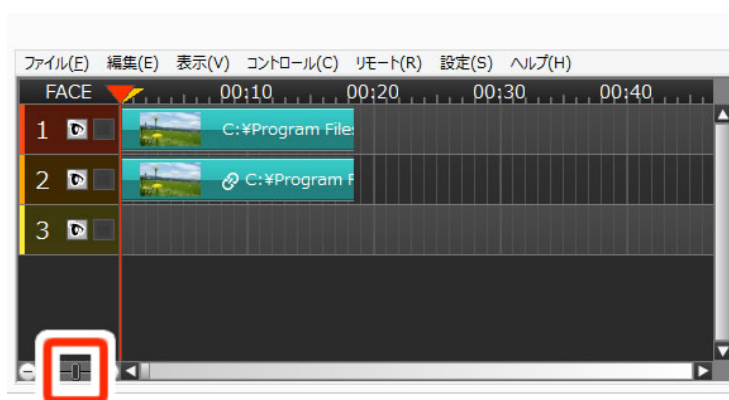
- ① 【-】ボタンをクリックすると、1 目盛りの縮尺が大きくなります。



- ② 【+】ボタンをクリックすると、1 目盛りの縮尺が小さくなります。



- ③ 【スライダー】を動かすと、1 目盛りの縮尺を変更できます。



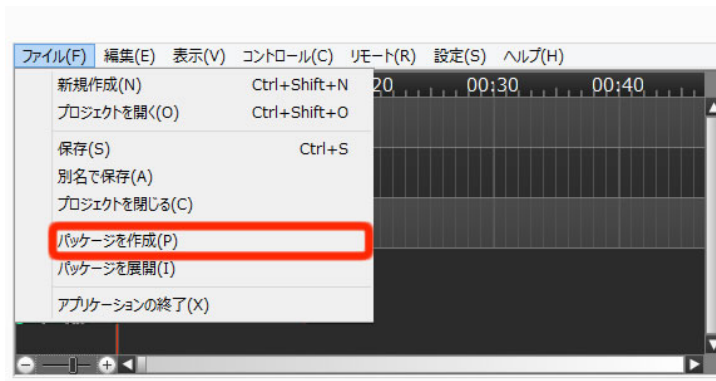
または、【Alt】キー+【マウスホイール】操作でも縮尺を変更できます。

8.7. プロジェクトのデータを移行する

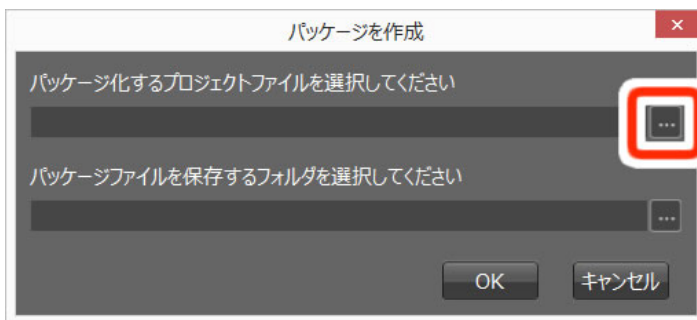
8.7.1. パッケージを作成する

プロジェクトで使用している素材を収集し圧縮ファイルとして保存します。別のパソコンでプロジェクトを読みこむ際などに使用すると便利です。

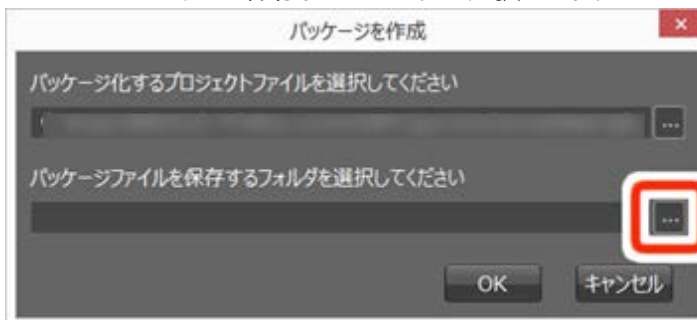
- ① 【ファイル】メニューから【パッケージを作成】を選択します。



- ② パッケージ化するプロジェクトファイルを選択します。



- ③ パッケージファイルを保存するフォルダを選択します。



- ④ 【OK】ボタンをクリックします。



拡張子が【.pcpp】の新しいパッケージファイルが作成されました。



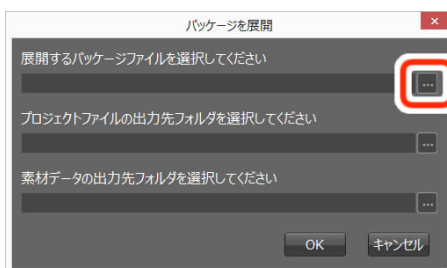
8.8. パッケージを展開する

パッケージファイルに使用されている素材の取り出しには、パッケージの展開が便利です。

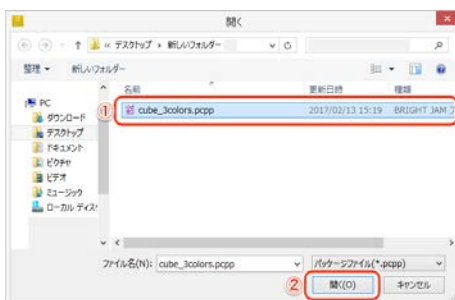
- ① 【ファイル】メニューから【パッケージを展開】を選択します。



- ② 【パッケージを展開】ウィンドウが表示されます。展開したいパッケージファイルを【参照】ボタンから選択します。



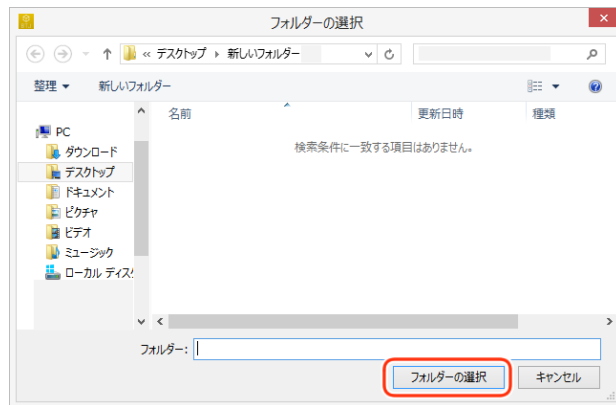
- ③ 該当のパッケージファイルを選択し、【開く】ボタンをクリックします。



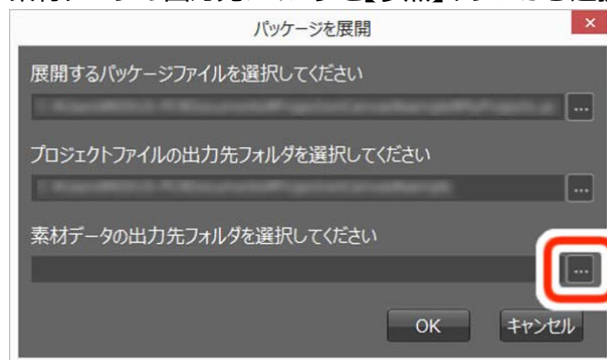
- ④ プロジェクトファイル出力先を【参照】ボタンから選択します。



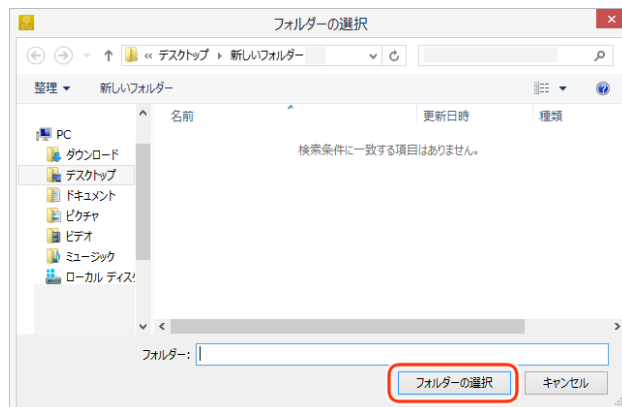
- ⑤ フォルダを開き、【フォルダーの選択】ボタンをクリックします。



- ⑥ 素材データの出力先フォルダを【参照】ボタンから選択します。



- ⑦ フォルダを開き、【フォルダーの選択】ボタンをクリックします。



- ⑧ 【OK】ボタンをクリックします。



- ⑨ 再度【OK】ボタンをクリックします。

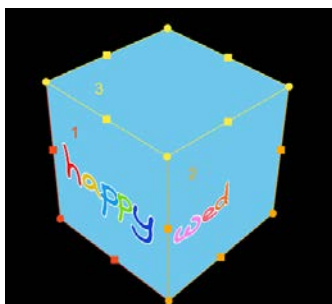


- ⑩ プロジェクトファイル(pcp ファイル)、素材データ、マスク画像データが展開されました。



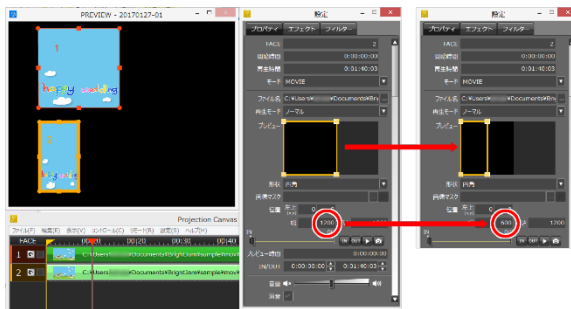
8.9. ITEM を 2 つの FACE に跨ったように表示させる

サンプル【happywedding.pcpp】のように、動画や静止画を 2 つの FACE に跨ったように表示させます。



- ① 【設定】ウィンドウの【プレビュー】で動画の表示される範囲を変更します。

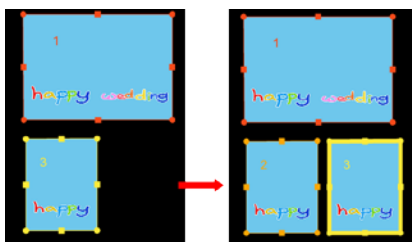
ファーストステップガイド



- ② 【FACE】2 のタイムラインの【FACE】No を【Ctrl】を押下しながらドラッグ&ドロップして【FACE】をコピーします。



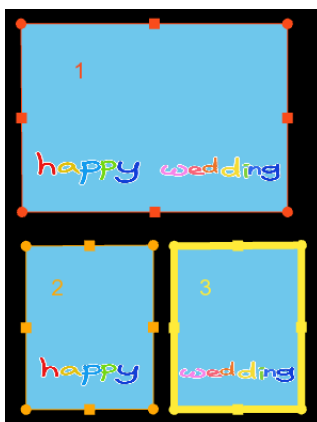
- ③ コピーしてできた【FACE】3 が【FACE】2 と重なっているので位置をずらします。



- ④ 【設定】ウィンドウの【プレビュー】で動画の表示される範囲を変更します。



ITEM を 2 つの FACE に跨ったように表示できました。

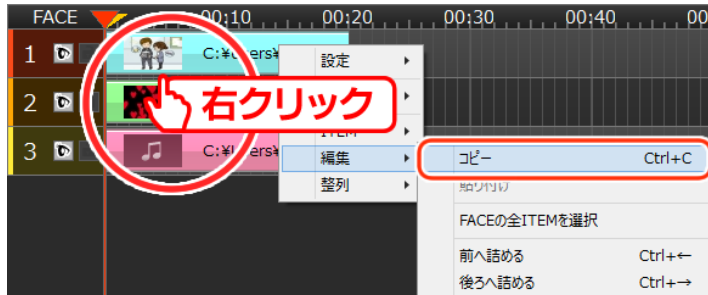


8.10. 【ITEM】を他のプロジェクトにコピー&ペーストする

コピーした【ITEM】は他のプロジェクト、またはパッケージに貼り付けることが可能です。

※パッケージ間、パッケージからプロジェクトには出来ません。

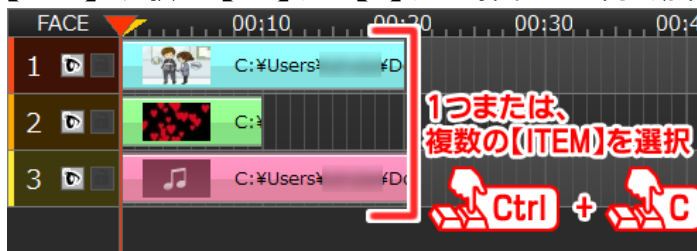
- ① コピーしたい【ITEM】を選択して右クリックメニューより【コピー】を選択してください。



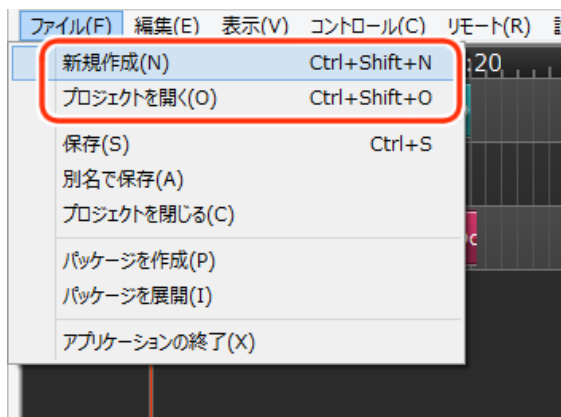
【ITEM】を選択して【編集】メニューよりコピーを選択、



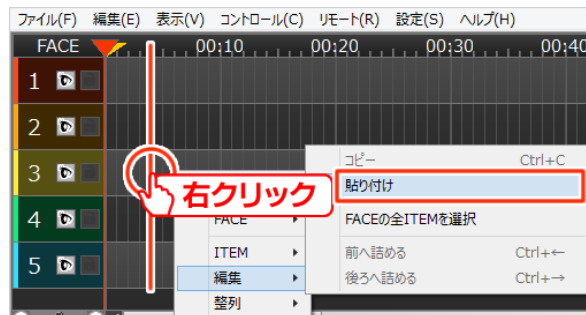
【ITEM】を選択して【Ctrl】キー+【C】キーを押下しても同じ効果です。



- ② 現在開いているプロジェクトを閉じ(必要であれば保存をしてください)、貼り付けをしたいプロジェクトを開きます。



- ③ コピーした【ITEM】の数分の【FACE】を用意し、貼り付けしたい【FACE】の貼り付けたい【タイム】で右クリックメニューより【編集】>【貼り付け】を選択します。






貼り付けたい【FACE】を選択し、【タイムカーソル】を貼り付けたい【タイム】に合わせて【Ctrl】キー+【V】キーを押下しても同じ効果です。



9. 一覧

9.1. マウскарソルの種類

			
ITEM の長さ調整	ITEM の長さ調整	ITEM の複製	ITEM の リンク作成

9.2. ショートカットキー

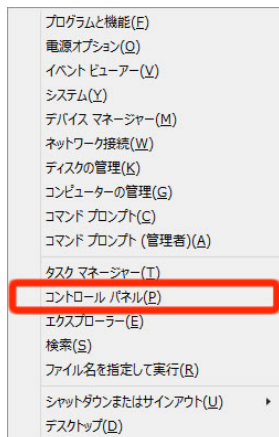
ショートカットキーとは、キーボードを使ってパソコンの操作を簡単に行うための機能です。ショートカットキーを使用すると、効率よく作業を行うことができます。

キー操作	目的
Ctrl + Z	操作を元に戻す
Ctrl + Y	操作をやり直す
Ctrl + Shift + O	プロジェクトを開く
Ctrl + Shift + N	プロジェクトを新規作成する
Ctrl + S	プロジェクトを保存する
Ctrl + ←	選択した ITEM を前に詰める
Ctrl + →	選択した ITEM を後ろに詰める
Ctrl + K	選択した ITEM をタイムラインカーソルの位置で分割する
Ctrl + I	タイムラインカーソルの位置に IN 点を設定する
Ctrl + O	タイムラインカーソルの位置に OUT 点を設定する
Ctrl + C	選択中 ITEM をコピーする
Ctrl + A	FACE を追加する
Ctrl + T	タイムラインカーソルを IN 点の位置に移動する
Ctrl + P	プロジェクトターへ映像を投影する
Ctrl + G	【プレビュー】ウィンドウにガイドを表示する
Ctrl + L	IN 点と OUT 点の間を繰り返し再生するモードにする
Ctrl + クリック	ITEM を複数選択する
ドラッグ中 Ctrl	ドロップで ITEM または FACE をコピーする
ドラッグ中 Alt	ドロップでリンク ITEM を作成する
ドラッグ中 Esc	ドラッグをキャンセルする
Delete	選択 ITEM を削除する
BackSpace	選択 ITEM を削除する
→	現在時間を進める
←	現在時間を戻す
Shift + →	現在時間をやや早く進める
Shift + ←	現在時間をやや早く戻す
SPACE	START/PAUSE 切り換える
Alt + マウスホイール	タイムラインの縮尺を変更する

10. 困ったときは

10.1. アンインストールしたい

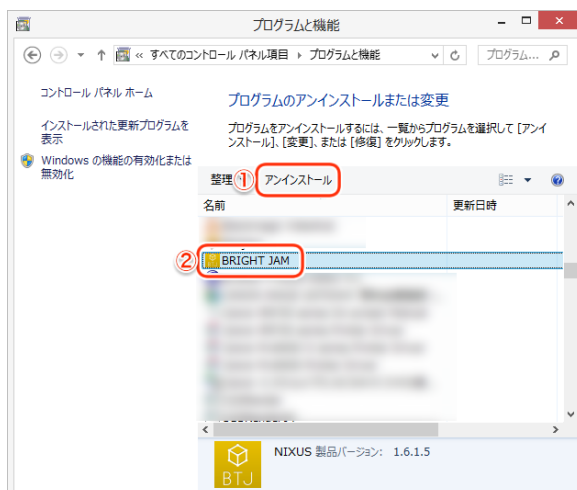
- ① パソコンの【コントロールパネル】を開いてください。



- ② 【プログラムのアンインストール】を開いてください。



- ③ 【BRIGHT JAM】選択し、【アンインストール】をクリックしてください。BRIGHT JAM のアンインストーラが起動します。



- ④ 【ライセンスユーザ登録を解除する】にチェックを入れます。ライセンス登録されていない場合は、チェックすることはできません。

パソコンを替える場合、必ずライセンスの解除を行ってください。ライセンスを解除せずに、他のパソコンにライセンスを登録することはできません。



- ⑤ 【次へ】をクリックしてください。



- ⑥ 【終了】をクリックしてください。アンインストールが終了します。

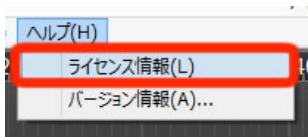


- ⑦ パソコンのドキュメントフォルダ内に【BRIGHT JAM】フォルダがあります。フォルダ内にはサンプルデータとして、動画や静止画、音ファイルがあります。手動で削除してください。

10.2. ライセンス認証(アクティベーション)を解除したい

他のパソコンで BRIGHT JAM を使う時はアクティベーション解除が必要です。

- ① 【タイムライン】ウィンドウの【ヘルプ】メニューから【ライセンス情報】を選択します。



- ② 【解除】ボタンをクリックすると、アクティベーションが解除されます。



- ③ 【OK】ボタンをクリックします。

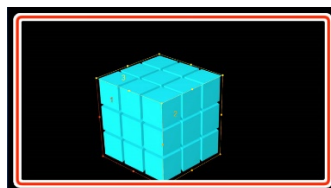


- ④ 【終了】ボタンをクリックします。



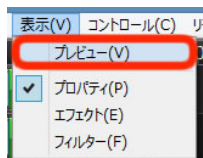
10.3. プレビューが画面いっぱいに表示され操作できない

画面をクリックして、【Alt】キーと【F4】キーを押すと画面が閉じます。



画面をクリックし
【Alt】キー + 【F4】キー
を押す

再度【プレビュー】ウィンドウを表示する場合は、【表示】メニューから【プレビュー】を選択してください。



10.4. 再生時に音が遅れる

特定の形式の MP4 ファイルは再生時に音声が遅れることがあります。予めご了承ください。

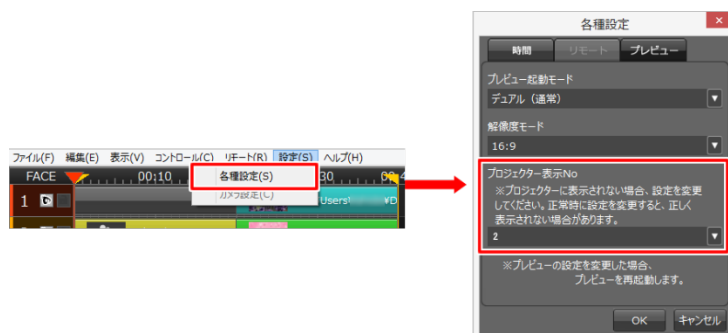
10.5. 【プレビュー】ウィンドウが起動しない

一度 BRIGHT JAM を閉じて、【Shift】キーを押しながら BRIGHT JAM のショートカットアイコン(またはアイコン)をダブルクリックして起動してください。

10.6. プロジェクターに投影されない

【SCREEN】ボタンを押してもプロジェクターに投影されない場合、次の方法をお試しください。

- ① パソコンとプロジェクターが正しく接続されているかを確認してください。
詳しくは、「4.1 パソコンとプロジェクターの接続」を参照してください。
- ② 【設定】の【各種設定】を選択して【各種設定】ウィンドウを表示してください。
【プロジェクター表示 No】のプルダウンメニューで、プロジェクター表示 No を変更してください。



BRIGHT JAM
ファーストステップガイド
第 1.2 版 2017 年 2 月作成

NIXUS
北海道日興通信株式会社 企画部